

一目でわかる!



影山史枝

incunabula

新機能ガイドダンス INDesign CS

InDesign CS の柔軟なワークスペース管理

とにかく速くなった！	6
新たな作業方法 [コントロールバー]	7
より広いワークスペースの実現 [縮小可能なパレット]	12
作業単位で保存できる [ワークスペースの保存]	14
InDesign CS 主な新機能一覧	18

InDesign CS のプリプレス機能

正確に視覚化できる [分版パレット]	20
特色と他インキを組み合わせる [混合インキ]	23
透明機能の出力だって大丈夫！ [分割・統合プレビュー]	27
欄外情報の出力には [印刷領域の設定]	31
詳細確認できるようになった [情報パレット]	34

InDesign CS の生産性の高いテキスト処理

強力な [ストーリーエディタ]	36
複雑なスタイル指定には [先頭文字スタイル]	38
ユーザ指定の [字形セット]	42
表組機能の強化 [ヘッダ行・フッタ行]	45
同名で異なるフォント形式もフォントメニューに表示される	47
段落パレットに追加された [行末を揃える]	48

InDesign CS の高度なグラフィック制作

新たな [バスファインダ] パレット	50
豊富な線種が作成できる [線種] エディタ	52
正確な寸法・角度測定 [測定ツール]	55
カラスウォッチの機能強化	56
ドラッグ & ドロップで削除できるオブジェクト	58

InDesign CS と他ソフトとの連携

XML 機能強化 : DTD の読み込みに対応	60
強化された Adobe PDF サポート	63
InDesign CS の新機能を含んだ PDF の作成	64
インタラクティブな PDF の作成	66
PDF/X ファイルの作成	68
スムーズなワークフロー (他 Adobe 製品との連携)	69
Adobe Illustrator	69
Adobe Photoshop	70
Adobe GoLive	71
レイアウトデータの変換	74
QuarkXPress	75
Adobe PageMaker	76

InDesign CS を使う前に知っておこう

InDesign CS の動作環境	78
まだある！ 細かな改良点	79
注意事項 [お読みください～既知のトラブル回避方法]	80
情報収集サイト	90
検証環境について	91
あとがき	92
奥 付	94
インクナブラの書籍について	96

新機能ガイド
InDesign CS

InDesign CS の 柔軟なワークスペース管理

とにかく速くなった!

新たな作業方法 [コントロールバー]

より広いワークスペースの実現 [縮小可能なパレット]

作業単位で保存できる [ワークスペースの保存]



とにかく速くなった！

InDesign CS を使用して、まず最初に感じるはその速度です。従来のバージョンでは、どうしたら速度アップにつながるのかを考慮して環境設定やメモリの搭載などアプリケーション周りの環境にも配慮して作業をしていたのが嘘のように起動・スクロールなどが格段にスピードアップしています。

スピードアップしている作業内容

高速化した作業内容	InDesign CS 公表値
スクロール／画面再描画	50-80%Up
PDFファイル書き出し・印刷	Ave.40%Up
ドロップシャドウ・透明を含むドキュメントの作業	Ave.40%Up
配置ファイル(Photoshop) 読み込み	Max 70%Up
MS-Word/Excel の読み込み	40-70%Up
欧文スペルチェック	40-70%Up

従来の InDesign ユーザ及び InDesign へ移行しようと考えていたユーザは、当初その処理速度に歯がゆい思いをしてきました。環境設定のインライン入力をはずしたり、配置画像の表示品質に配慮したり、リンクパレット表示をオフにしたりといった具合に、なんとか速く操作するための方法はないものかと苦慮したものです。

InDesign 2.02J になってからは速度も安定してきましたが、再保存を繰り返した InDesign ドキュメントは、次第に容量が重くなり、多数の配置画像が貼り込んでであると、速度低下をもたらしていました。こうしたことから、実務レベルで速度に不満を持つユーザも多かったことと思います。

InDesign CS では、使用していくにしたがって、他ソフトや旧バージョンへ後戻りできなくなるほどの軽快感でレイアウト作業ができるようになります。

InDesign CS を利用していくと、スピード感と共に強烈に感じるのは、画面上の操作をつかさどるパレット群などのワークスペース管理機能や画面表示のバリエーションです。

まずは、これらのインターフェース及びワークスペースについて確認していきましょう。

InDesign CS の柔軟なワークスペース管理

新たな作業方法 【コントロールバー】

InDesign CS を起動してまず目につくのが、画面いっぱいを占領していたパレットが画面右端にすっきりと取まっていることと、Photoshop ライクなコントロールバーの存在でしょう。

これによってユーザごとの好みに応じた整理された作業環境を作り上げることができ、レイアウト作業に集中することができます。

画面構成

コントロールバー

パレット群



7

テキスト選択時のコントロールバー 1.

InDesign CS のコントロールバーでは、選択しているオブジェクトに応じて内容が変化します。たとえば、テキストを選択している場合のコントロールバーには、従来の文字設定パレット・段落パレットの内容が表示され、配置画像を選択している場合には、従来の変形パレットの内容が表示されます。

■テキスト選択時（文字設定）

コントロールバーの各セクションは以下の通りです：

- フォント指定: 小塚明朝 Std, R
- 垂直比率: 100%
- フォントサイズ: 12 Q
- 行送り: (12 H)
- ベースラインシフト: A a +
- 水平比率: 100%
- カーニング: 和文等幅
- 文字ツメ: 0%
- 文字前のアキ量: 自動
- 文字スタイル: 字 [文字スタイルなし]
- 字送り: 0
- 字取り: 0
- 文字後のアキ量: 自動
- 縦中横:

option+ クリックすると新規文字スタイル定義ができます。

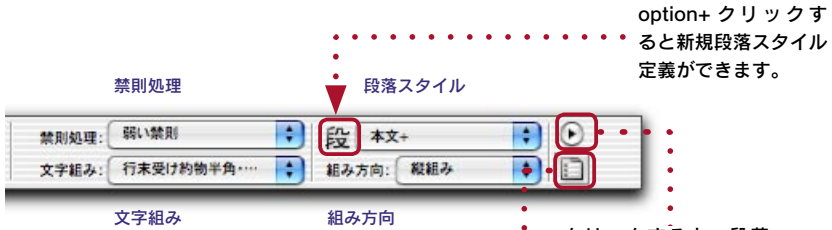
クリックすると、文字設定パレットメニューが表示されます

従来の方法を利用したい場合や、関連する機能を設定したい場合には、パレット表示・非表示ボタンも用意されています。テキストデータが選択されている場合には、文字設定・文字スタイルパレットが表示されます。

OpenType 機能	
縦中横	⇧⌘H
縦中横設定...	⇧⌘H
割注	⇧⌘W
割注設定...	⇧⌘Z
ルビ	
圏点	
文字揃え	
文字の比率を基準に行の高さを調整	
グリッドの字間を基準に字送りを調整	
斜体...	⇧⌘S
下線	⇧⌘U
下線設定...	
打ち消し線	⇧⌘/
打ち消し線設定...	
上付き文字	⇧⌘=
下付き文字	⇧⇧⌘=
オールキャップス	
スモールキャップス	
✓ 欧文合字	

テキスト選択時のコントロールバー 2.

■テキスト選択時（段落設定）

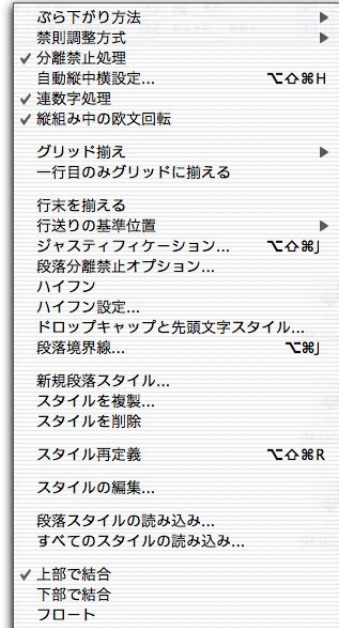


段落設定パレットの呼び出し

クリックすると、段落設定パレットメニューが表示されます



テキスト部分を選択中にクリックして文字設定・段落設定の切り替えを行います。

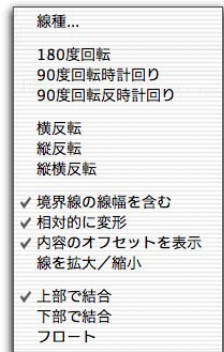


■フレームグリッド選択時（変形パレット・フレームグリッド設定）

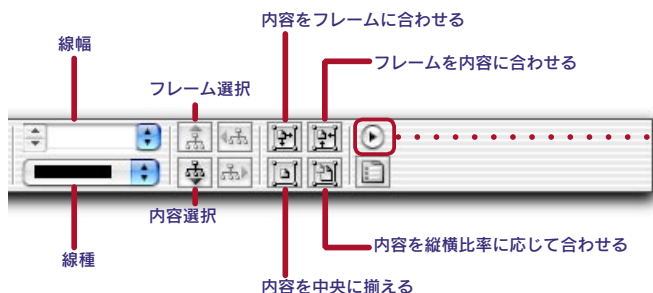
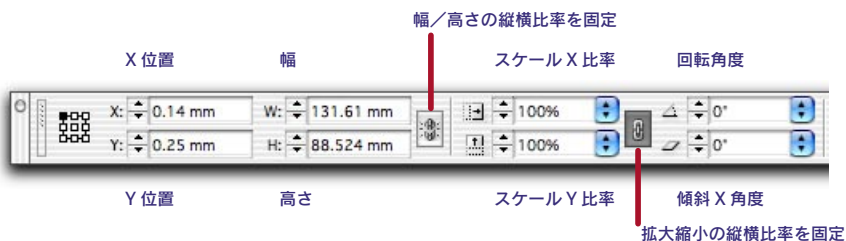


- option+ クリックすると
- フレームグリッド設定画面が表示されます
- 新規にグリッドフォーマットを作成する場合は、ダブルクリックします

クリックすると、線種／回転などのメニューが表示されます



■配置画像選択時（変形パレット・オブジェクトサイズの調整）

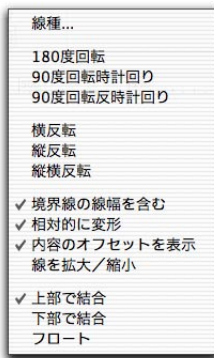


クリックすると、線種／回転などのメニューが表示されます

これらのコントロールバーは、上部に固定するだけでなく、下部に置いたり、切り離してパレットとして利用することもできます。Quark ユーザや PageMaker ユーザから移行したばかりならば、下部に移動して利用すると良いでしょう。

また、フレームグリッド選択時のコントロールバーには、グリッドフォーマット設定が表示され、即座に設定変更などができるようになっています。

これらのコントロールバー上の各種アイコン表示部分をポイントすれば、使い方のヒントや機能が表示されますので、初心者にとっては、非常に親切な設計になっていると言えるでしょう。



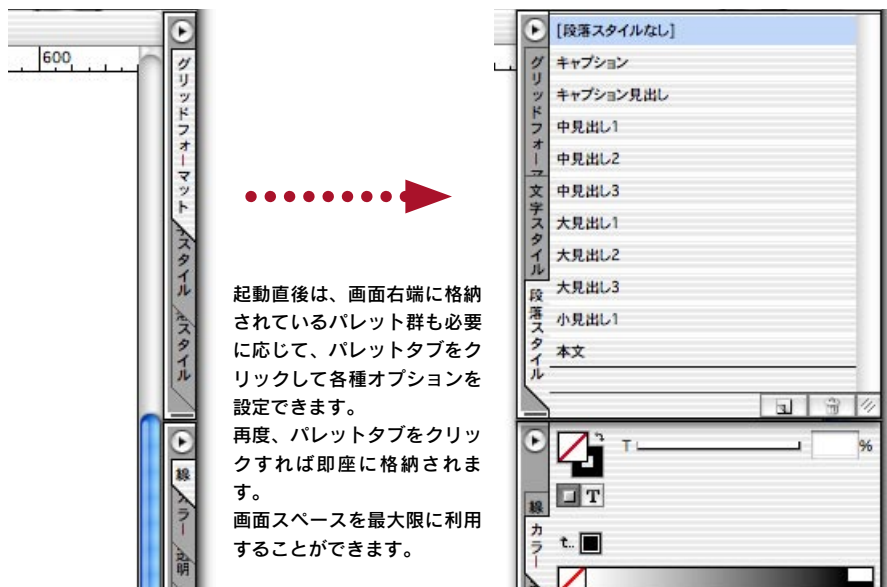
より広いワークスペースの実現 【縮小可能なパレット】

InDesign 2.02 までの作業スペースでは、一つのレイアウトを作り上げるまでに何度となく、各種パレットの表示・非表示を切り替えていました。大画面モニターでさえ感じていたものですが、InDesign CS では、これらのパレット群が画面左右端に伸縮するようになっています。これによって、より広いワークスペースを確保でき、必要に応じてパレットを呼び出す作業も容易になりました。

縮小可能なパレット

モニターサイズによっては、InDesign によるレイアウト作業中の各種パレット操作を煩雑に感じてきたユーザも多くいます。これまでは、tab キー（各種パレットの非表示）や shift+tab キー（ツールパレット以外のパレット非表示）によって、作業領域やレイアウト全体を確認してきました。InDesign CS では、初期設定状態では、画面右側に各種パレットのパレットタブが縦に整列した状態になっています。

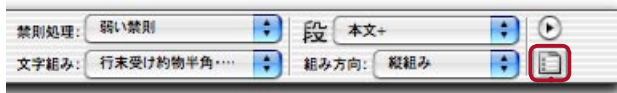
12



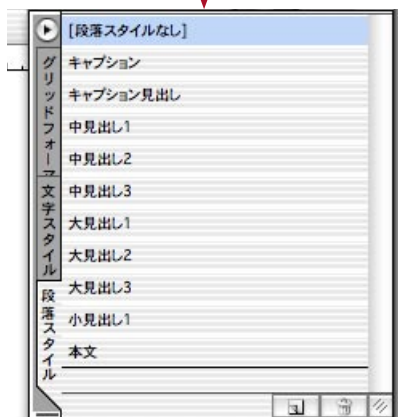
コントロールバーからのパレット表示

パレット操作は、コントロールバーからも制御できます。

各コントロールバー右端の関連パレットの表示/非表示ボタンをクリックすると、現在選択しているオブジェクトに関連するパレットが表示されます。また、option キーを押したままクリックすると、画面右端のパレット全体の表示/非表示を切り替えることができます。



ツールバーのパレット表示/非表示ボタンから、現在選択しているオブジェクトに関連するパレットを最前面に表示できます。



これらのパレットは、従来どおり、必要に応じてグループ化したり、切り離してフローティングパレットとして利用することができます。

さらに InDesign CS の新たなパレット機能によって、より柔軟にパレット制御ができるようになりました。

作業単位で保存できる [ワークスペースの保存]

InDesign CS のデスクトップ上のパレットの大きさや位置を、作業単位に保存することができるようになりました。これによって、作業内容に応じてパレット群の切り替えを行い、即座に各種設定を施すことができるようになります。この作業環境を快適にするための機能は「ワークスペースの保存」コマンドを使用します。保存したワークスペースには、ショートカット編集によるキーボードショートカット割り当てもできます。

ワークスペースの保存

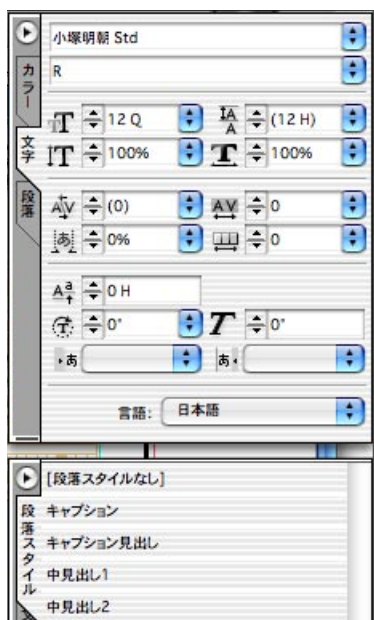
1 台のマシンを複数のユーザで利用する場合や、種類の異なるレイアウトデザイン制作で、使用するパレット群が異なるという場合、または作業単位に、ウィンドウに表示するパレットの組み合わせを変更して、ワークスペースとして保存することができます。

14

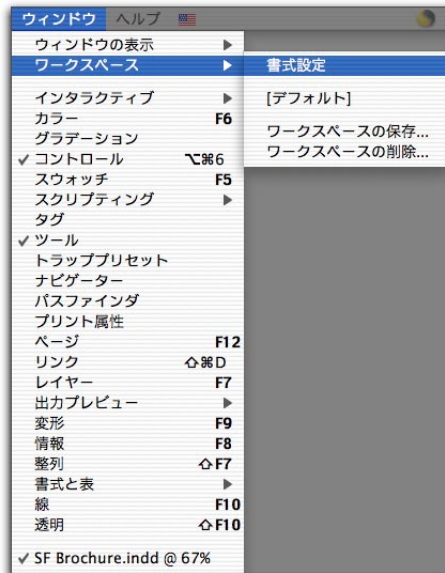
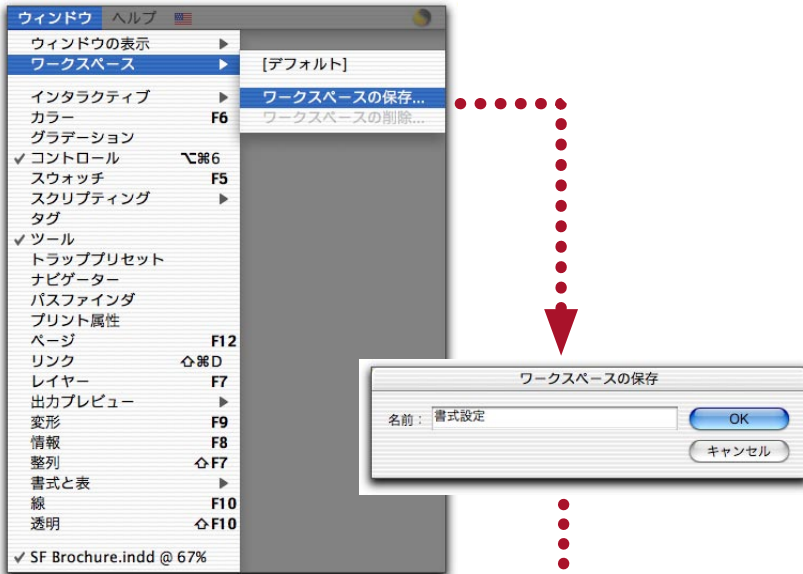
- ①保存するワークスペースに設定にします。
(必要なパレットをグループ化)

書式設定作業の場合は、

- ・文字パレット
 - ・段落パレット
 - ・段落スタイル
 - ・字形パレット
 - ・カラーパレット
- などをグループ化しておきます。



②[ウィンドウ]メニュー>[ワークスペース]
> [ワークスペースの保存]



必要に応じて保存してあるワークスペースを呼び出して利用します。

保存したワークスペースに対しては、ショートカット編集機能を使用して最大5つまでショートカット割当ができます。

デザイン作業中に、画像の配置位置の変更や複数の画像の中から目的のものを選択していくなどのシミュレーション過程で、ペストボードを利用することがあります。

InDesign CS では、ペストボードの上下エリアも変更できるようになりました。

初期設定では、25.4mm（1inch）ですが、必要に応じて上下エリアを広げて、仕上がりサイズの上下エリアでのパーツシミュレーションができます。

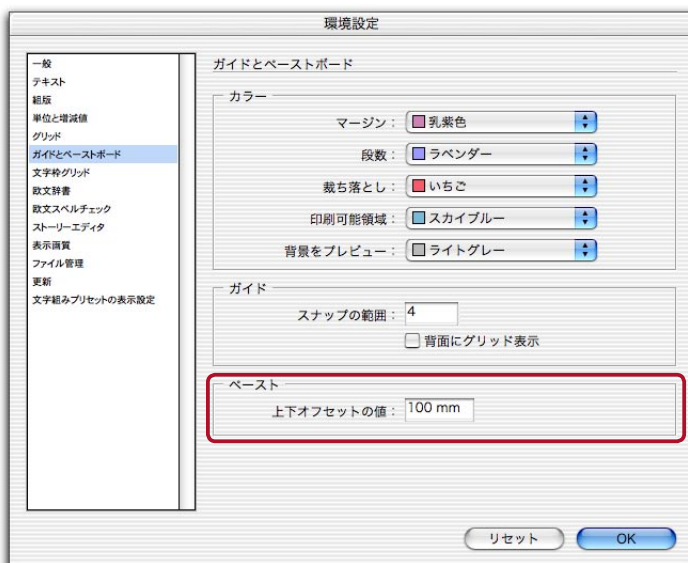


通常は、紙面の上下に各 1 インチ分のエリアが確保されています。

このエリアは、0 ~ 3048mm までの指定ができます。

[InDesign] メニュー > [環境設定]

[ガイドとペストボード] > [上下オフセットの値] で指定します。



上下のオフセット値を「100mm」に変更したレイアウト



この他にも、InDesign ユーザーにはうれしい機能が満載です。そのひとつが、Illustrator ライクなタイプツール切り替え機能です。テキストフレームをダブルクリックすると、自動的にタイプツールに素早く切り替わります。

InDesign は慣れるにしたがって、タイプツールにいちいち変更していく作業が煩雑に感じていましたので、歓迎すべき新機能のひとつと言えます。

このように、速度だけではなく、インターフェースをはじめ画面周りが非常に使いやすくなったことも、InDesign CS の新たな魅力となっています。

InDesign CS

主な新機能一覧

これまで紹介してきたインターフェースや画面周りの新機能以外に、さらに強化された機能や追加された機能は数多くあります。

カテゴリ・機能		機能詳細	新機能
テキスト	ストーリーエディタ	テキスト編集専用機能	New!
テキスト	先頭文字スタイル	ドロップキャプス・見出し文字設定	New!
テキスト	表のヘッダ・フッタ	表組にヘッダ行・フッタ行指定	New!
テキスト	字形パレット	カスタム字形パレットの作成	
プリプレス	分版パレット	各色版プレビュー表示・インキ制御	New!
プリプレス	分割・統合パレット	透明部分の検出・分割設定	New!
プリプレス	印刷可能領域設定	印刷エリア拡大(紙面外情報の出力)	New!
プリプレス	混合インキ	特色と他インキとのかけ合わせインキ作成	New!
ファイル	情報パレット	テキスト画像に関する情報表示	New!
テキスト	フォントメニュー	同名でフォント形式の異なるフォントを表示	
ファイル	PDF書き出し	Adobe PDF 1.5・PDF/X 対応	
クロスメディア	DTD の読み込み	XML の文書型定義の読み込み	New!
クロスメディア	XML タグのマップ	タグをスタイルにマップ	New!
グラフィック	測定ツール	任意の 2 点間の測定	New!
グラフィック	線種エディタ	線種の拡張と新規作成機能	New!
グラフィック	パスファインダ	Illustrator と同様	New!
クロスメディア	GoLive パッケージ	InDesign CS データを GoLive データへ変換	New!

これらのうち、初めての起動後に感じる画面周りや日頃よく利用するインターフェースに関して、本章では、取り上げました。

検証環境について



「一目でわかる InDesign CS 新機能ガイド」で検証した動作環境は下記の通りです。なお、InDesign CSはベータバージョンですので、製品版と多少仕様が異なることがあります。下記と同じ条件でも、別の要因で結果が変わることがありますので、ご了解ください。

■使用したマシン

PowerBook G4/400
メモリ 1GB
Mac OS X 10.2.8/Mac OS 9.2.2

■検証に使用したアプリケーション

InDesign CS 日本語ベータ版
InDesign 2.0.2 日本語版
Illustrator CS 日本語ベータ版
Illustrator 10.0.3 日本語版
Illustrator 9.0.2 日本語版
Illustrator 8.0.1 日本語
Photoshop CS 日本語ベータ版
Photoshop 7.0 日本語版
Acrobat 5.0.5 日本語版
Acrobat 6.0 Professional 日本語版

■出力に使用したプリンタ

XEROX DocuColor 4040
(SMICS Server)

あとがき

今回、Adobe Creative Suite の発売に伴って InDesign も InDesign CS と名称も変え、大きなバージョンアップが行われました。期待していた機能も数多く搭載され、Creative Suite パッケージとして、Illustrator CS、Photoshop CS、Acrobat 6.0、GoLive CS との連携や Version Cue によるファイル管理など、パッケージ全体としての統一性やワークフロー全体を見据えた改良点は、目を見張るものがあります。

特に InDesign を利用してきたユーザにとっては、従来使用してきた不満に感じていた点が解消され、より使いやすくなっていることに感激することと思います。

どんな点が？といった疑問にお応えできるように、本書では、各種新機能をトピック的にまとめてみました。これまで Macintosh 上で InDesign を利用してきたデザイン制作・出力に携わる方々にとって、バージョンアップを検討する段階やバージョンアップ後の動作確認の参考になれば幸いです。

92

筆者は、InDesign 2.0 が発売されてから、QuarkXPress でレイアウトしていたものを InDesign で制作するようになりました。切り換え当初は、多くの試行錯誤を繰り返したことが思い出されます。

InDesign CS を使用して感じるのは、「なぜこれができないんだろう？」と不思議に思いつつ使ってきた部分や「こんなことができたらいいのに…」と考えていたことが、数多く実現されていることです。新しい機能の数々を検証するにしたがって、自然に指になじんでくるのを実感しました。

何よりも、従来 Mac OS X 上で作業していて、鈍重に感じる部分がすっきりと解消されていることに驚きます。各種操作の処理速度の向上には、目を見張るものがあります。細かなインターフェースの改良も同様です。テキストフレームをダブルクリックしてテキストツールに変わる—Illustrator では当たり前のことなぜできないのだろう？と不思議に思っていたことが今回実現しており、操作性向上に一役買っています。このような小さな変更点も日常業務で利用する立場の方々にとっては、うれしい改良点のひとつとなることでしょう。

DTP 実務において、InDesign のバージョンアップに関しては、Mac OS X 上での使用／入稿データの使用フォントなどの点から、躊躇する声もあることでしょう。現状、デザイン制作段階では、OS X ユーザが徐々に増えているものの、印刷・出力環境では、Mac OS 8.6 や 9.2 が健在です。何よりも DTP 出力で求められるのは、トラブルのない安定した出力にほかならないからです。

InDesign CS のプリプレス機能は、こうしたユーザの考えを考慮したかのように、プリプレス機能を充実させています。従来から、プリフライト機能やパッケージ機能など、印刷用データ出力のための機能は充実していましたが、今回のバージョンアップに伴って加わった新機能—分版プレビュー、分割・統合パレットは、出力前のチェック機能としては、非常に有効な手段として今後定着する機能となっていくことでしょう。

今回の検証作業にあたっては、Macintosh を主体に行ってきました。InDesign ユーザ全般で見ると、印刷関連企業だけではなく一般企業内でも広報・制作部門などで利用されています。その場合、プラットフォームとしては、Windows がほとんどです。Windows を利用した InDesign ユーザも数多くいることと思います。Windows ユーザの方は、本書記載中のキーボードショートカットが Macintosh ユーザを対象とした記述となっていますが、それぞれのキーの対応 (Command キー→ Ctrl キー、option キー→ Alt キー) に置き換えてお試しください。

incunabula で



LETS

Leading Edge Type Solution

を お申し込みされる方に

フォントワークスジャパンの包括的フォントサポートプログラム『LETS』へのご入会は、いずれの販売代理店からご入会いただくことができますが、インクナブラよりお申し込みいただくと、フォントワークスジャパンのサポート以外にさまざまな特典があります。

● DTP-S 倶楽部にそのまま入会 ●

DTP-S 倶楽部は、上高地仁の DTP-S 内にある会員制の情報サイトです。DTP の関する新しい話題や Tips など、いち早くお届けする有料のコンテンツサービスです。DTP-S 倶楽部にご入会いただくと下記のような特典があります。この DTP-S 倶楽部は有料の会員制を取っていますが、インクナブラより『LETS』にお申し込みいただくと、LETS 入会期間が同時に DTP-S 倶楽部への入会になります。

会員のみがアクセスできる Web でのコンテンツ	メールマガジン「DTP-S 倶楽部 BCC マガジン」の配信	ペーパーマガジン誌 『DTP オカジオネル』の配布	インクナブラ発行の書籍や 素材集のご優待
会員のみがアクセスできるページを用意しています。一般に公開されないコンテンツがアップされています。また、会員のみがダウンロード可能な PDF などのコンテンツも用意しています。	「DTP-S 倶楽部 BCC マガジン」は、インクナブラより書籍化されるコンテンツや DTP 倶楽部だけの記事をメールマガジンで配信します。表の DTP-S では書けない話題もあります。	Web ページやメールマガジンに掲載したコンテンツをペーパーマガジンとしてお届けするものです。『DTP オカジオネル』の一部は、DTP-S よりフリーコンテンツとして配布されますが、完全版を手にとってごらん戴けます。予定では隔月もしくは季刊程度で配布します。	DTP-S 倶楽部にご入会いただくと、インクナブラ発行の書籍・素材集・ソフトなどがご優待価格でお申し込みいただけます。また、インクナブラ主催のセミナーにもご優待価格で参加していただけます。

● ご入会方法 ●

■すでに LETS の見積りをされた方

LETS の見積りをされ、お申し込みされるだけになっている場合は、「LETS 見積書兼申込書」をインクナブラまでお送りください。また同時に、ライセンス契約書をフォントワークスジャパンにお送りください。フォントをより早くお使いになりたいときは、「LETS 見積書兼申込書」を先に FAX いただくと、製品をお届けするのがより早くなります。

■ LETS エントリーバックをお持ちの方

エントリーバックをお持ちの場合は、「LETS 見積依頼書」に必要事項をご記入の上、インクナブラもしくはフォントワークスジャパンまで FAX してください。折り返し、お見積りの内容とライセンス契約書をお届けいたします。すでにエントリーバックをお持ちの場合は、ライセンス契約時には入会金は不要です。

■これから LETS の見積りをされる方

いまから LETS に入会される場合は、ライセンス使用料以外に入会金 (30,000 円) が必要となります。お急ぎの場合は「LETS 見積依頼書」をインクナブラまでお送りください。もし、多少時間があるのであれば、エントリーバックをお買い上げいただき、そのシリアル番号を「LETS 見積依頼書」にご記入いただくと、入会金は不要になります。インクナブラで LETS エントリーバックをお申し込みいただくと、インクナブラの書籍を一冊プレゼントいたします。

■すでに LETS に入会されている方

すでに LETS に入会されていても、年ごとの更新時に販売会社を変更することができます。更新時にインクナブラで更新していただくことで、インクナブラの特典が受けられます。詳しくはインクナブラまでお問い合わせ下さい。

使用したフォント

FOT- マティス Pro

FOT- ロダン Pro

FW- ニューロダン Pro

一目でわかる InDesign CS 新機能ガイド

発行 2004年1月23日 初版発行

著者 影山 史枝

発行人 田中 清

発行所 有限会社 インクナブラ

〒540-0025 大阪市中央区徳井町 2-2-11 LM 東本町第三 405 号

TEL:06-6966-4468

FAX:06-6966-4469

製本 石川特殊特急製本株式会社

©2003 by Jin Kamikochi

本書の内容の一部もしくは全部を著作権法の定める範囲を超え、有限会社インクナブラおよび著者に無断で複製、複写、転載することはご遠慮下さい。

本書の内容に関するお問い合わせもしくは質問は、Eメール（incun@incunabula.co.jp）もしくは文書で、小社までお問い合わせください。

■本書のサポート情報は

<http://www.incunabula.co.jp/shoseki/illcs> でアクセスいただけます。

アクセスするには下記のパスワードが必要です。

ユーザー ID InDesignCS

パスワード xsq14045

※ Web でのサポートは本書の最終発行日から1年といたします。

本書は Mac OS X 10.2 環境の InDesign 2.0.2 でレイアウトしたものを、データ書き出して PDF 化したものです。その PDF を InDesign に貼り込み、さらに PDF 化して印刷したものです。

